

2020 年度

アカコッコ保護事業報告書



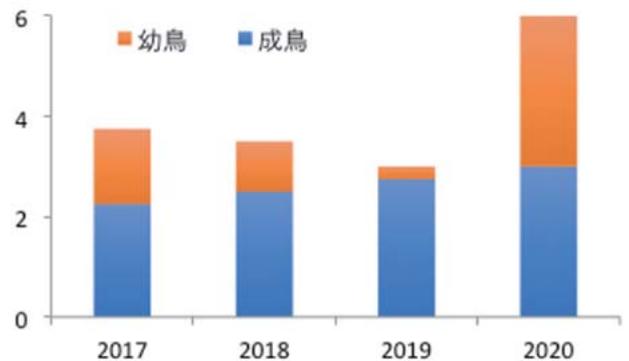
日本野鳥の会はアカコッコ保護事業として、伊豆諸島とトカラ列島のように生息する日本固有種で環境省のレッドリストで絶滅危惧 I B 類に選定されているアカコッコの個体数の増加を目的に、2012年から重要な繁殖地である東京都三宅島を中心に調査や環境整備、普及教育活動などを行なっています。2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を制限して実施しました。

トピックス

◆2020 年は幼鳥がたくさん生まれました！？

毎年 7 月下旬に、アカコッコの周年の生息地を調べることを目的として、GPSロガーを付けるための捕獲調査を行なっています。この調査では、その年に巣立った幼鳥も捕獲されるので、調査1日あたりに捕獲されたアカコッコの成鳥と幼鳥の数を調べてみました。

すると、2020 年は捕獲された幼鳥の数がそれ以前と比較して多くなっていました。一方、成鳥の数はそんなに変わりませんでした。餌の条件や森の環境が良かったのか、なにが影響したのか検討してみたいと考えています。なにはともあれ、繁殖がうまく行ったことがわかり、とてもうれしく思いました。



7月の調査で捕獲された成鳥と幼鳥の平均個体数

◆アカコッコは地元が好き？

三宅島のアカコッコがどこに行くのかを調べるために2017年からGPSロガーをアカコッコに装着して、一年の行動を追う調査を行なっています。2020年は2019年の3月(No.1896)と7月(No.3152)にロガーを装着した計2個体からデータを回収することができました。

これまでに回収できたデータはオス6個体分、メス1個体分です。2020年は2個体ともオスの成鳥でしたが、1個体はGPSの情報が上手く保存できておらず、春から夏までのデータで止まってしまいました。もう1個体は、装着した7月から翌3月までのデータが得られました(右図)。やはり、装着地点から秋、冬にかけて雄山に登っていき、春先にアカコッコ館周辺まで戻ってくるという行動をしていました。これまでの調査結果で確実に島外に行っていたことが分かったのは1個体だけです。島内の利用地の環境を調べるなどアカコッコの行動の理由を探っていきたいと考えています。



7月に装着したアカコッコが記録されたポイント

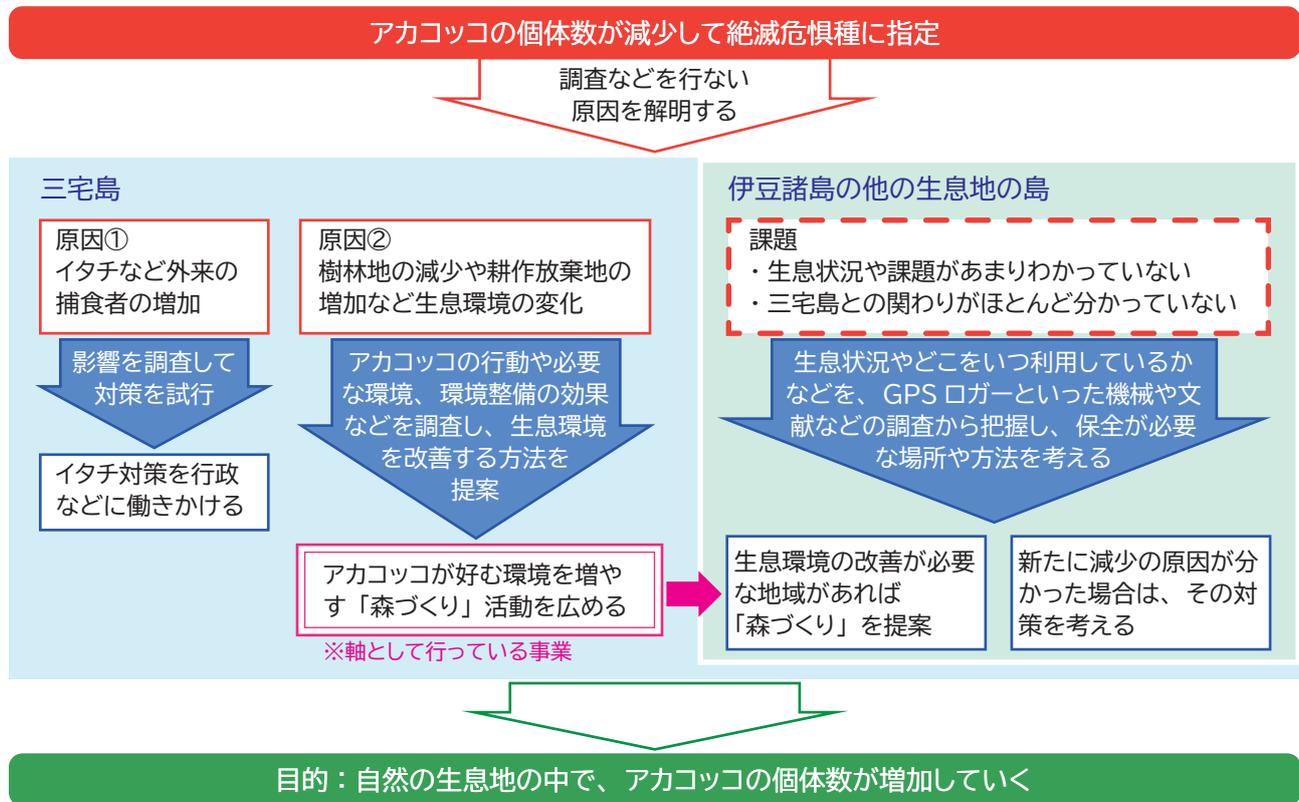


環境省のリングを装着したアカコッコ。移動や寿命の解明に役立ちます。

本事業は手島基金を基に実施しています

目標

- ・アカコッコの生息地を増やすための森づくりモデルの確立と普及
- ・三宅島における森づくり作業の実施
- ・外来捕食者（イタチ等）への対策



主な活動

2012年

保全計画の作成、次年度以降の調査計画等準備

2013年～2019年

カラーリングを用いた繁殖期の行動圏面積の推定

森林内の下草管理区域のアカコッコによる利用状況の調査

三宅島でアカコッコ総個体数調査を実施（推定個体数は約7,800羽）

アカコッコの森復活大作戦のリーフレットの配布とイベントの開催

アカコッコの利用地域の解明に向け、GPS ロガーを回収、新たに装着

環境省により国内希少野生動植物種に指定（調査結果などを基に当会が要望）

2020年

5月11、12 三宅島のアカコッコの個体数推定のための調査の実施

（推定個体数は約5,900羽、島民のみで実施）

7月18-23日 アカコッコの利用地域の解明に向けGPS ロガーを回収、新たに装着

3月13、14日 ボランティア活動「アカコッコの森づくり」開催

（島民限定で募集、参加者2名）



本事業は手島基金を基に
実施しています

公益財団法人日本野鳥の会 自然保護室
〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話：03-5436-2634
発行：2021年11月1日